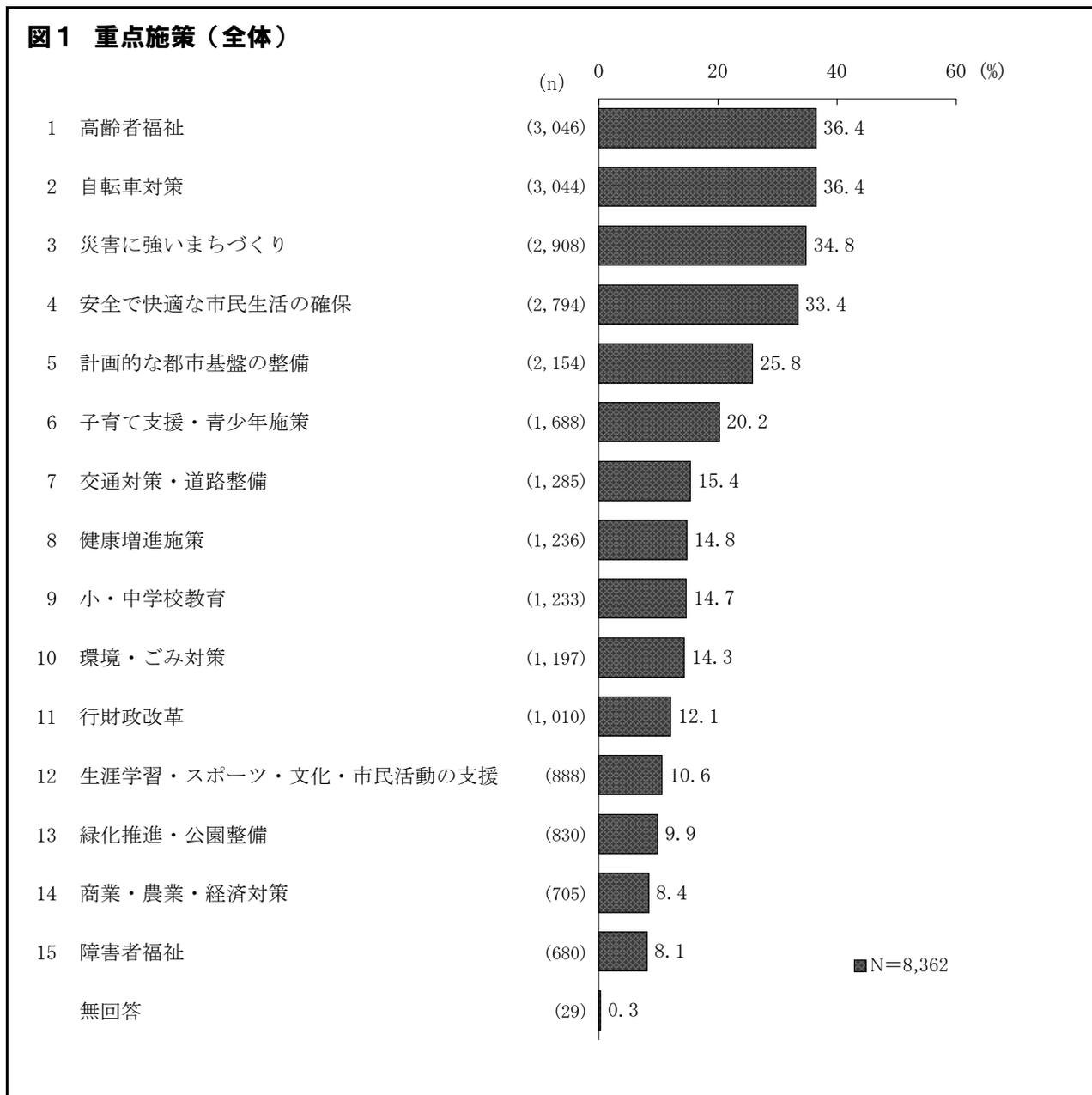


## II. 調查結果

## II 調査結果

### 1 今後重点的にすすめてほしい施策（選択式）

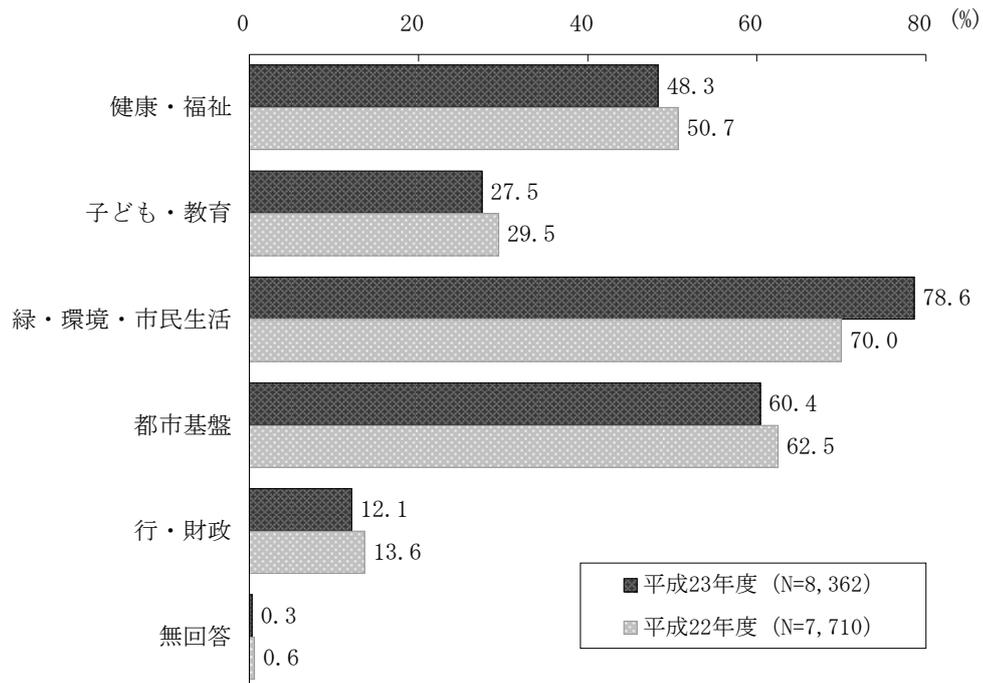


市の施策の中から今後、重点的にすすめてほしい施策を3つまで選んでもらいました。

「高齢者福祉」および「自転車対策」が36.4%と同率で最も高い重点的施策となりました。ついで「災害に強いまちづくり」（34.8%）、「安全で快適な市民生活の確保」（33.4%）が3割台で続いています。

(1) 分野別比較

図2 重点施策（5分類）



重点施策を武蔵野市第四期長期計画・調整計画における施策体系に沿って分類し、集計・分析をしました。

分野	施策内容
健康・福祉	1 健康増進施策
	2 高齢者福祉
	3 障害者福祉
子ども・教育	4 子育て支援・青少年施策
	5 小・中学校教育
緑・環境・市民生活	6 環境・ごみ対策
	7 緑化推進・公園整備
	8 商業・農業・経済対策
	9 安全で快適な市民生活の確保
	10 災害対策
	11 生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援
都市基盤	12 計画的な都市基盤の整備
	13 交通対策・道路整備
	14 自転車対策
行・財政	15 行財政改革

「緑・環境・市民生活」が78.6%と最も高く、ついで「都市基盤」が60.4%、「健康・福祉」が48.3%の順となっています。

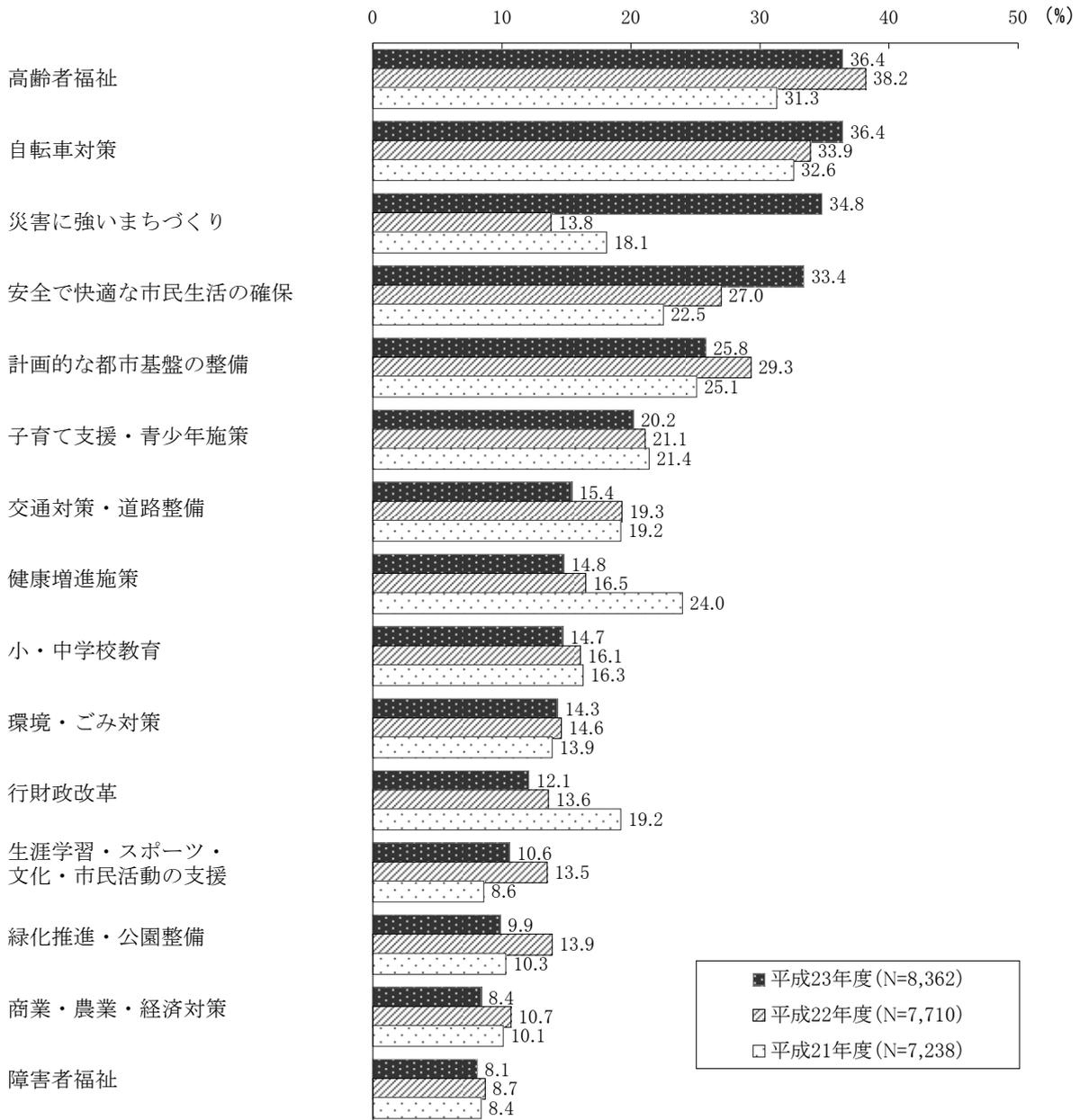
「緑・環境・市民生活」は昨年度より8.6ポイント上昇しています。他の各分野は昨年と比べて顕著な差はみられず、各分野の順位は昨年度と変化はありませんでした。

(2) 経年比較

表3 重点施策（経年比較）

項目	年度等	平成21年度			平成22年度			平成23年度			昨年度との比較(%)
		順位	回答者数	%	順位	回答者数	%	順位	回答者数	%	
1 高齢者福祉		2	2,269	31.3	1	2,943	38.2	1	3,046	36.4	△ 1.8
2 自転車対策		1	2,358	32.6	2	2,617	33.9	2	3,044	36.4	2.5
3 災害に強いまちづくり		9	1,308	18.1	11	1,061	13.8	3	2,908	34.8	21.0
4 安全で快適な市民生活の確保		5	1,629	22.5	4	2,085	27.0	4	2,794	33.4	6.4
5 計画的な都市基盤の整備		3	1,820	25.1	3	2,257	29.3	5	2,154	25.8	△ 3.5
6 子育て支援・青少年施策		6	1,548	21.4	5	1,626	21.1	6	1,688	20.2	△ 0.9
7 交通対策・道路整備		7	1,393	19.2	6	1,491	19.3	7	1,285	15.4	△ 3.9
8 健康増進施策		4	1,737	24.0	7	1,275	16.5	8	1,236	14.8	△ 1.7
9 小・中学校教育		10	1,180	16.3	8	1,245	16.1	9	1,233	14.7	△ 1.4
10 環境・ごみ対策		11	1,005	13.9	9	1,122	14.6	10	1,197	14.3	△ 0.3
11 行財政改革		8	1,391	19.2	12	1,046	13.6	11	1,010	12.1	△ 1.5
12 生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援		14	619	8.6	13	1,037	13.5	12	888	10.6	△ 2.9
13 緑化推進・公園整備		12	747	10.3	10	1,072	13.9	13	830	9.9	△ 4.0
14 商業・農業・経済対策		13	729	10.1	14	828	10.7	14	705	8.4	△ 2.3
15 障害者福祉		15	606	8.4	15	670	8.7	15	680	8.1	△ 0.6
無回答			224	3.1		49	0.6		29	0.3	△ 0.3
全体（集計対象者）			7,238	100.0		7,710	100.0		8,362	100.0	-

図4 重点施策（経年比較）



□過去3年間（経年比較）上位3項目

	平成21年度 (N=7,238)	平成22年度 (N=7,710)	平成23年度 (N=8,362)
第1位	自転車対策 (32.6%)	高齢者福祉 (38.2%)	高齢者福祉 (36.4%)
第2位	高齢者福祉 (31.3%)	自転車対策 (33.9%)	自転車対策 (36.4%)
第3位	計画的な都市基盤の整備 (25.1%)	計画的な都市基盤の整備 (29.3%)	災害に強いまちづくり (34.8%)

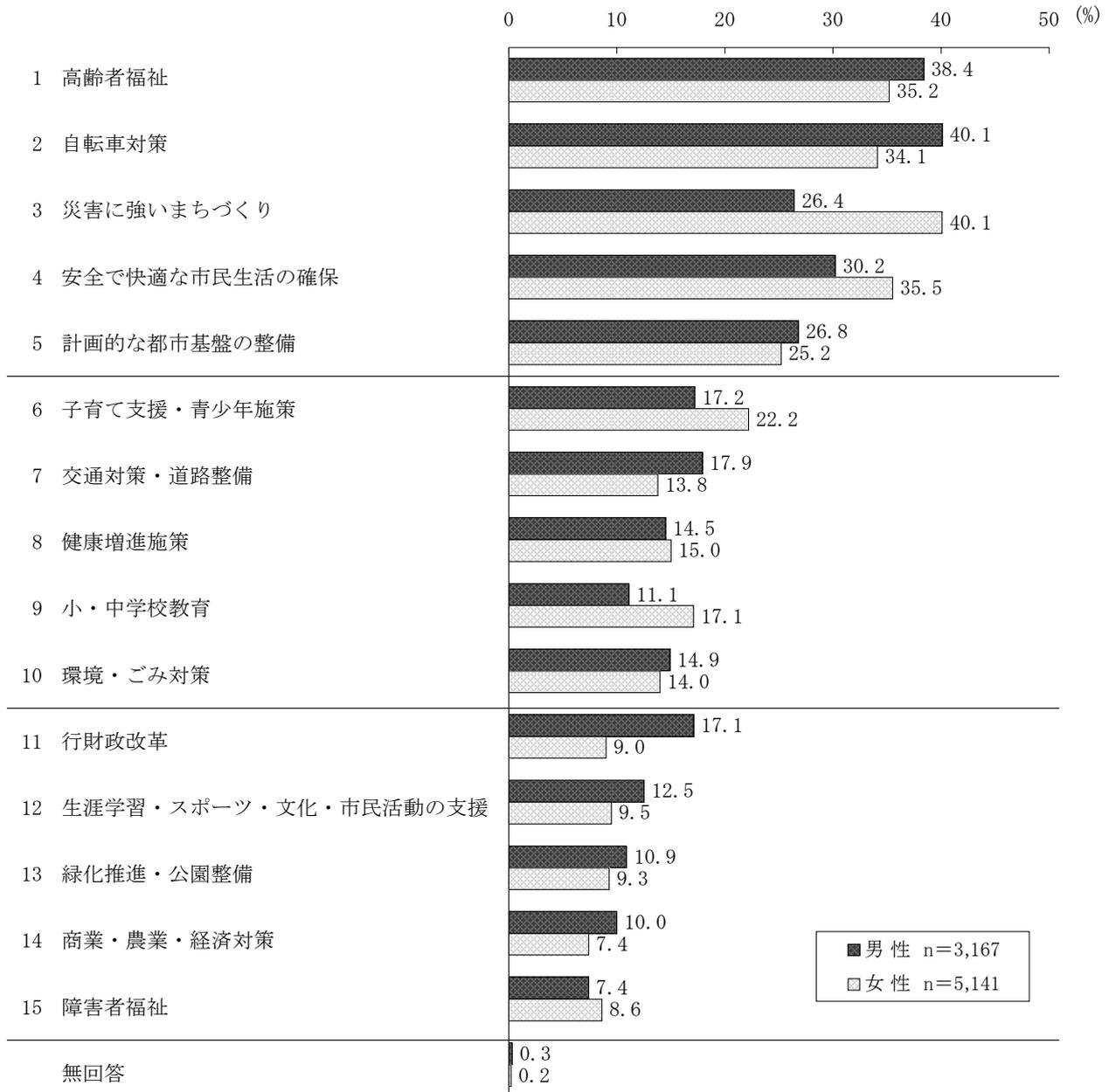
過去3年間の比較では、今年度の第1位「高齢者福祉」と第2位「自転車対策」は昨年度と同じとなっており、過去3年間において順位の変動はありますが、上位2項目に変化はありません。

昨年、一昨年と第3位であった「計画的な都市基盤の整備」に代わり、今年度は「災害に強いまちづくり」が第3位となっています。「災害に強いまちづくり」は昨年度は13.8%であったのに対し、今年度は34.8%と21ポイント上昇しています。これは平成23年3月11日に起きた東日本大震災の影響によるものと考えられます。

また、「安全で快適な市民生活の確保」も昨年度より6.4ポイント上昇しています。その他の項目は全般的に昨年度より減少している傾向です。

### (3) 性別比較

図5 重点施策（性別）



#### □性別上位3項目

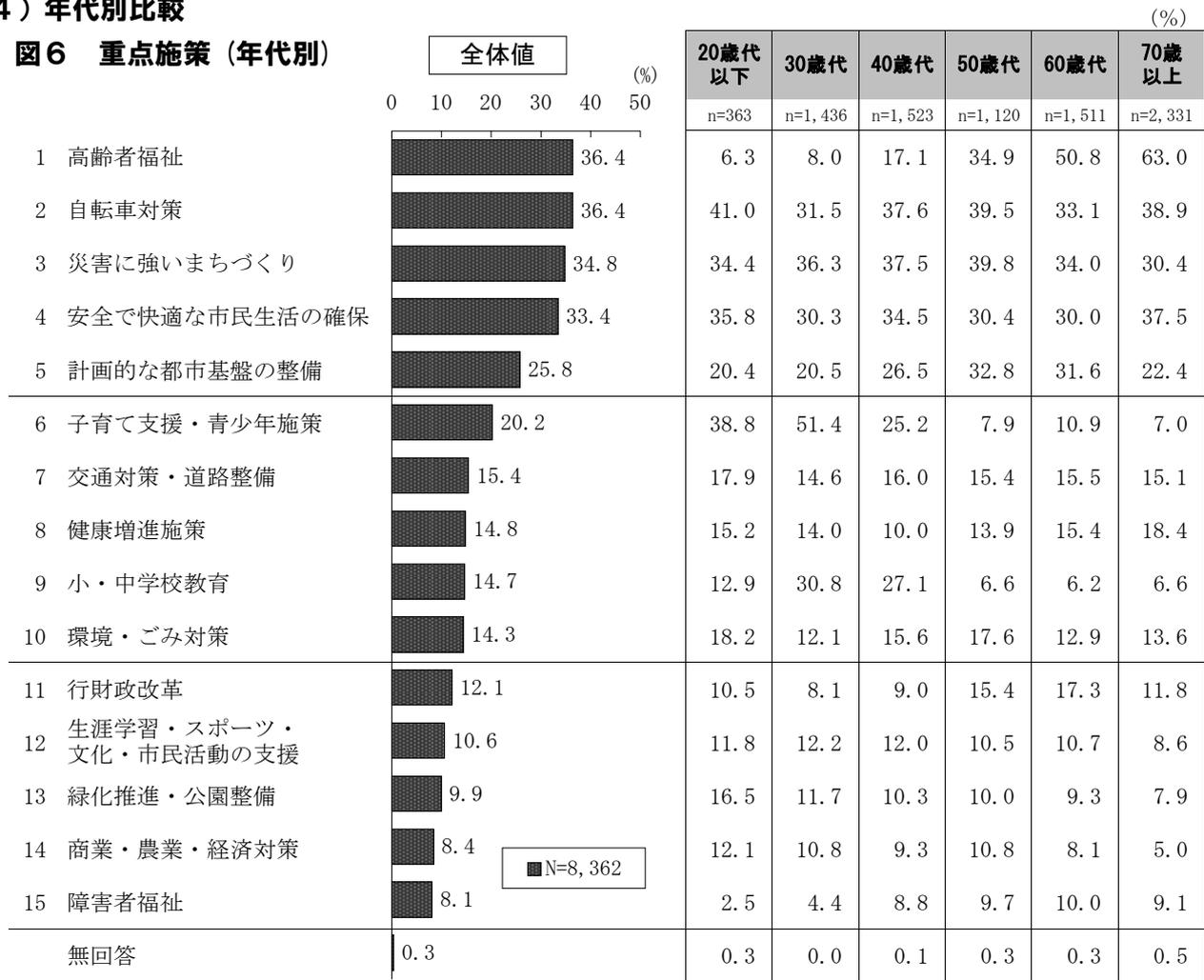
	男性 (n=3,167)	女性 (n=5,141)
第1位	自転車対策 (40.1%)	災害に強いまちづくり (40.1%)
第2位	高齢者福祉 (38.4%)	安全で快適な市民生活の確保 (35.5%)
第3位	安全で快適な市民生活の確保 (30.2%)	高齢者福祉 (35.2%)

性別では、男性は第1位が「自転車対策」、第2位が「高齢者福祉」、第3位が「安全で快適な市民生活の確保」の順であるのに対して、女性は第1位が「災害に強いまちづくり」、第2位が「安全で快適な市民生活の確保」、第3位が「高齢者福祉」の順となっています。

男性が女性より高い傾向がみられたのは、「行財政改革」（8.1ポイント差）、「自転車対策」（6.0ポイント差）、「交通対策・道路整備」（4.1ポイント差）などで、女性が男性より高い傾向がみられたのは、「災害に強いまちづくり」（13.7ポイント差）、「小・中学校教育」（6.0ポイント差）、「安全で快適な市民生活の確保」（5.3ポイント差）、「子育て支援・青少年施策」（5.0ポイント差）などでした。

(4) 年代別比較

図6 重点施策(年代別)



□年代別上位3項目

	20歳代以下(n=363)	30歳代(n=1,436)	40歳代(n=1,523)
第1位	自転車対策 (41.0%)	子育て支援・青少年施策 (51.4%)	自転車対策 (37.6%)
第2位	子育て支援・青少年施策 (38.8%)	災害に強いまちづくり (36.3%)	災害に強いまちづくり (37.5%)
第3位	安全で快適な市民生活の確保 (35.8%)	自転車対策 (31.5%)	安全で快適な市民生活の確保 (34.5%)
	50歳代(n=1,120)	60歳代(n=1,511)	70歳以上(n=2,331)
第1位	災害に強いまちづくり (39.8%)	高齢者福祉 (50.8%)	高齢者福祉 (63.0%)
第2位	自転車対策 (39.5%)	災害に強いまちづくり (34.0%)	自転車対策 (38.9%)
第3位	高齢者福祉 (34.9%)	自転車対策 (33.1%)	安全で快適な市民生活の確保 (37.5%)

年代別による差が大きいのは、「高齢者福祉」「子育て支援・青少年施策」「小・中学校教育」の3項目でした。

全体で第1位の「高齢者福祉」は、20歳代以下の6.3%に対して、70歳以上では63.0%（56.7ポイント差）で、年代が上昇するにつれ回答率が高くなり、50歳代以上になると特に高い結果でした。

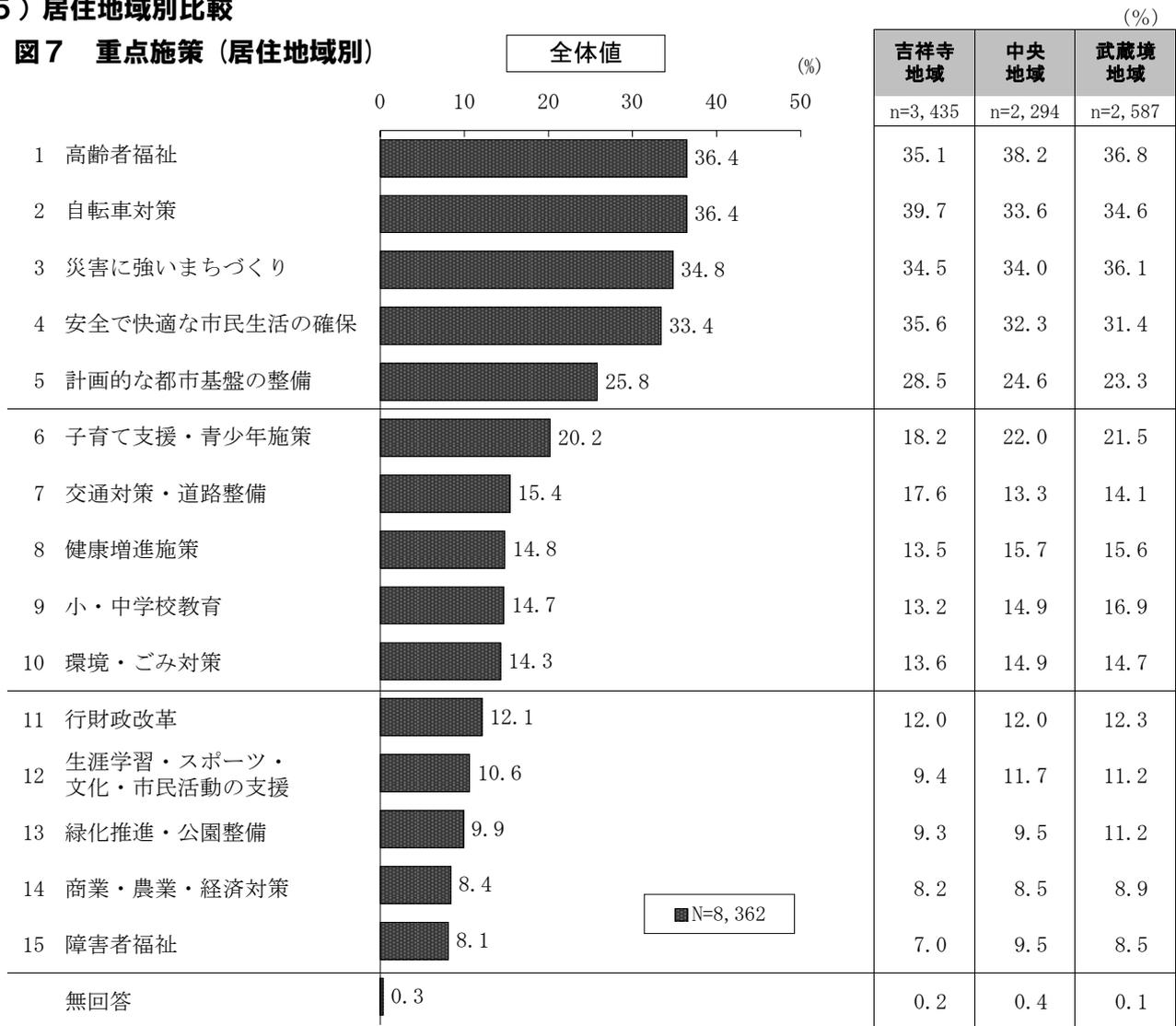
第6位の「子育て支援・青少年施策」は、「高齢者福祉」とは逆に40歳代以下の回答率が高く、とりわけ30歳代は51.4%と最も高くなっており、30歳代では第1位にあげられています。

また、第9位の「小・中学校教育」は30歳代および40歳代の子育て世代で30%前後となっています。

全体で第2位の「自転車対策」は各年代ともに30%を超え、20歳代と40歳代では第1位となっており、「災害に強いまちづくり」も各年代ともに30%を超え、50歳代では第1位、30歳代、40歳代、60歳代では第2位にあげられています。

(5) 居住地域別比較

図7 重点施策（居住地域別）



□居住地域別上位3項目

	吉祥寺地域 (n=3,435)	中央地域 (n=2,294)	武蔵境地域 (n=2,587)
第1位	自転車対策 (39.7%)	高齢者福祉 (38.2%)	高齢者福祉 (36.8%)
第2位	安全で快適な市民生活の確保 (35.6%)	災害に強いまちづくり (34.0%)	災害に強いまちづくり (36.1%)
第3位	高齢者福祉 (35.1%)	自転車対策 (33.6%)	自転車対策 (34.6%)

居住地域別では、吉祥寺地域では「自転車対策」が39.7%と第1位となっており、中央地域の33.6%、武蔵境地域34.6%より高い結果となりました。

中央地域と武蔵境地域は第1位が「高齢者福祉」、第2位が「災害に強いまちづくり」、第3位が「自転車対策」と同じ順位となっています。

吉祥寺地域は、中央地域・武蔵境地域と比べ、「安全で快適な市民生活の確保」、「計画的な都市基盤の整備」、「交通対策・道路整備」などといった都市型の基盤・整備面の項目が相対的に高い傾向で、中央地域と武蔵境地域は、吉祥寺地域と比べ、「子育て支援・青少年対策」、「小・中学校教育」、「健康増進施策」などライフステージ面の項目が相対的に高い傾向でした。

(6) 各項目の属性別比較

図8 重点的にすすめてほしい施策（性・年代別・居住地域別の内訳）

《1. 高齢者福祉》

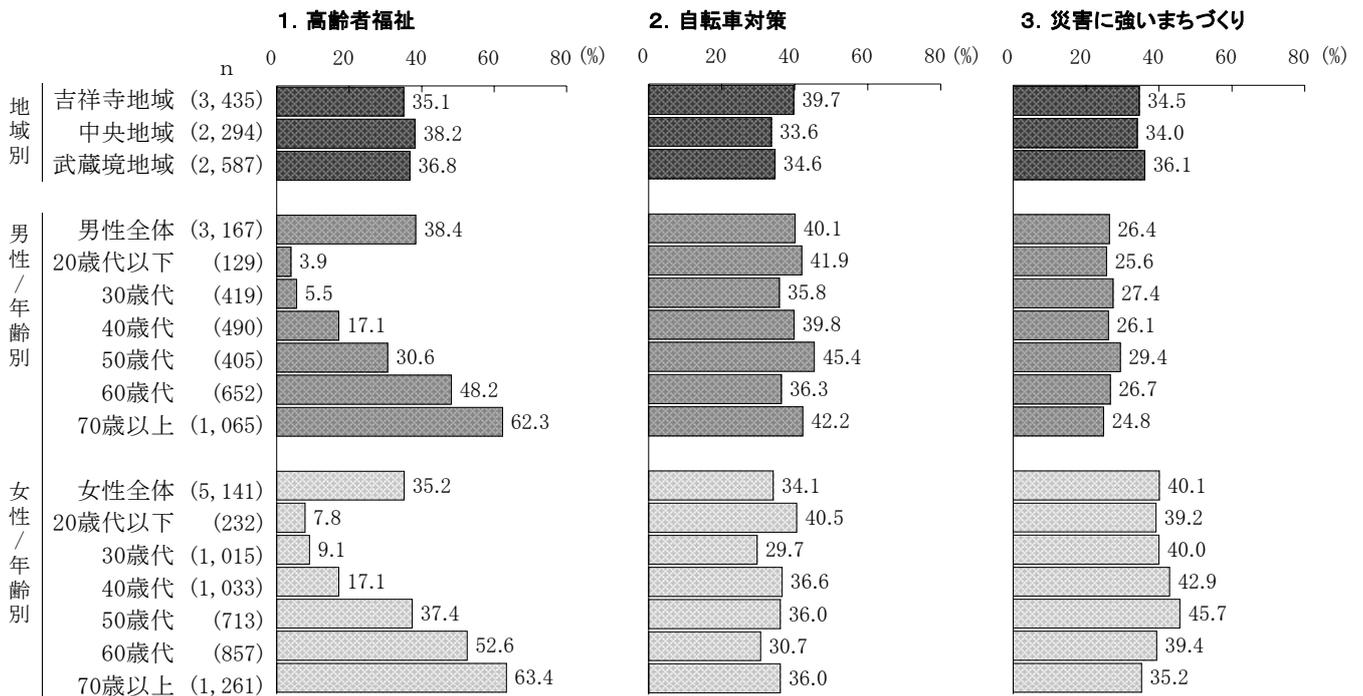
「高齢者福祉」では、居住地域別による差は見られないものの、性・年代別では男女ともに、年代が上昇するにつれて、回答の率が高くなる傾向でした。

《2. 自転車対策》

「自転車対策」の居住地域別では、吉祥寺地域の回答が39.7%と高い結果でした。また性・年代別では、各年代とも女性より男性で高い傾向でした。

《3. 災害に強いまちづくり》

「災害に強いまちづくり」では、居住地域別による差は見られませんでした。性・年代別では各年代とも女性の方が男性より高い傾向でした。また男女それぞれ50歳代で最も高く、70歳代以上で最も低い結果となっています。



#### 《4. 安全で快適な市民生活の確保》

「安全で快適な市民生活の確保」では、居住地域別では吉祥寺地域がやや高い傾向となりました。性・年代別では各年代とも男性より女性の方が高く、男女それぞれ70歳代以上でやや高い傾向となりました。

#### 《5. 計画的な都市基盤の整備》

「計画的な都市基盤の整備」では、居住地域別では吉祥寺地域が他の2地域に比べてやや高い結果でした。性・年代別では、男女それぞれ50歳代および60歳代でやや高い傾向となりました。

#### 《6. 子育て支援・青少年施策》

「子育て支援・青少年施策」では、居住地域別では中央地域や武蔵境地域がやや高く、性・年代別では男女ともに30歳代が最も高く、ついで20歳代以下で高い結果でした。

#### 《7. 交通対策・道路整備》

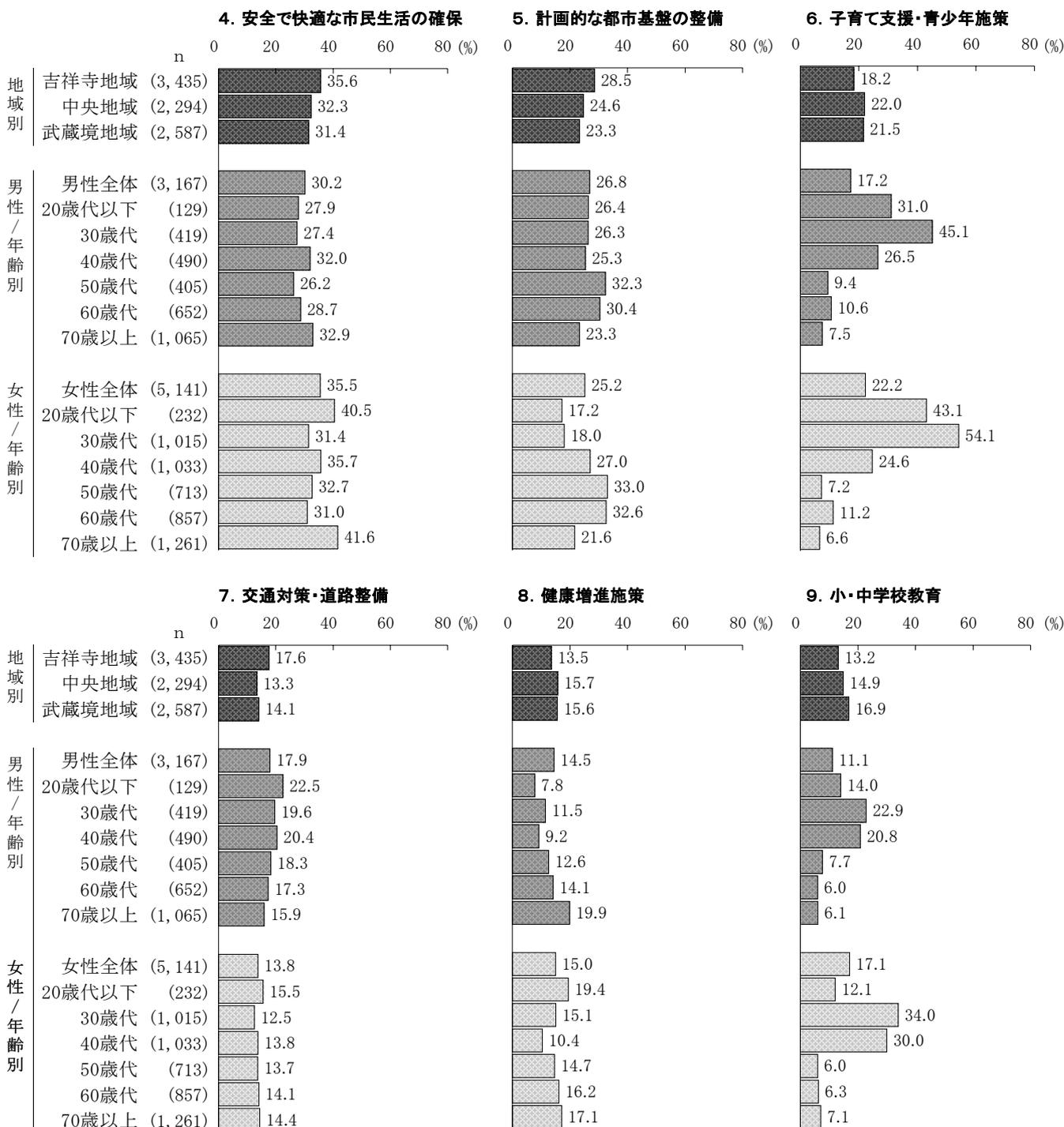
「交通対策・道路整備」では、居住地域別では吉祥寺地域が他の2地域に比べてやや高い傾向でした。各年代ともに、男性の方が女性より高い傾向となりました。

#### 《8. 健康増進施策》

「健康増進施策」では、居住地域別で中央地域および武蔵境地域がやや高めでした。女性では20歳代以下が、男性では70歳代以上が、他の年代と比べて高い結果でした。

#### 《9. 小・中学校教育》

「小・中学校教育」では、男女とも30歳代および40歳代で高い傾向となりました。



## 《10. 環境・ごみ対策》

「環境・ごみ対策」では、居住地域や性別による大きな差はみられませんでした。

## 《11. 行財政改革》

「行財政改革」では、居住地域による大きな差はありませんでした。各年代で男性は女性より高くなっており、男女ともに50歳代・60歳代がやや高めの結果でした。

## 《12. 生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援》

「生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援」では、男性の20歳以下が他の年代と比べて高い結果でした。

## 《13. 緑化推進・公園整備》

「緑化推進・公園整備」では、武蔵境地域でやや高い傾向でした。性・年代別では男女とも年代が低くなるほど回答率が高くなる傾向がみられました。

## 《14. 商業・農業・経済対策》

「商業・農業・経済対策」では、所住地域による差はみられませんでした。各年代とも男性の方が高い傾向がみられ、年代が低いほど回答率が高い傾向でした。

## 《15. 障害者福祉》

「障害者福祉」では、男女ともに20歳以下や30歳代に比べ40歳以降でやや高い傾向がみられました。

